

すくわくプログラム報告書

施設名	田中ナースリー大和保育園
クラス	2歳児
日付	2025・8

1 活動のテーマ

<テーマ>

水・色・光

2 <テーマの設定理由>

窓辺から差し込む光 影 水のゆらぎ、テラスでの水遊びに興味をもって関わろうとする姿から設定した。

園庭やテラス遊び、屋上、保育室など、日常生活の中でも、水に触れる機会が多く、子どもたちそれぞれの興味関心がどのように広がっていくかを深めて探究していくためにテーマを設定した。

3 環境の設定

<活動のために準備した素材や道具>

タライ 透明ボール器 水 容器になる玩具 セッケン

4 探索活動の実践内容

テラスで水遊びが始まる。

環境設定として、いつも手洗いで泡ハンドソープをたくさん出して手を洗っている子どもたちの姿から、「泡」で遊べるように準備した。

子どもたち：「なにやってるのー？」「あー！あわだー」「ちょーだい！」

保育者：シャカシャカと泡立てている。「これであそぶ？」

テラスにもっていくと、早速泡の中に手を入れて

子どもたち：「きもちー！」「あわあわだー」と楽しむ姿。



「みてみて！アイスみたい」

「ふわふわだねー」

友だち同士で会話を楽しむ。



泡を両手に持って「ほら！アワもてるよー！」

「手についちゃったー！」



水とは違う感触に気付き、その特徴をイメージして会話をしている。

泡が汚れをおとすものでもあることに気付いたのか、

子どもたち：「おせんたくしよー」と身近なおもちゃを洗っている。

その様子を見て、洗濯ができるアイテムを準備する。(ロープ・洗濯ばさみ・ハンカチタオル等)

子どもたち：「おせんたくする！」「タオルちょーだい」

「どこに干せばいい？」「ここ？」



洗濯ばさみを上手に使い、お洗濯ごっこを友だちと楽しんでいた。



5 振り返り

水遊びから泡あそび、最後には洗濯あそびまでつながる活動になった。洗濯するというお仕事も、子どもにとっては、ごっこ遊びとして楽しむことができることがわかった。

また、水と泡の違いにも着目し、体をつかって試しながら遊ぶ姿は、探究活動につながったのではないかと思う。